

【株式会社岡部新電元】

おはようございます。

もう学生生活では、なかなか

車はですね世界中で生活にはなくてはならないインフラと。

重視した働きやすい環境であったりですね、そちらお話させていただきます。

皆さんお手元にありますパンフレットをですね、めくっていただきますと車の概要とか書いてありますので、そちらをぜひ家に持って帰っていただいて。

前向きにチャレンジし、粘り強く取り組むことができる環境の中でですね、

情報処理科という学科にいて、ジャバとか PDF とか。

私が仕事選びの基準にしたことは、女の人も数字で見るとよりも実際すごく多くて、働きやすそうな印象をそこで受けて、いいなあと思って、この会社を選びました。

大切に思っていることがあったら教えてください。

高校を卒業して 18 歳でこの会社に入って、やっぱりどうしても年上の人ばかりなので、

まず第 1 にコミュニケーションだと私は思っていて。何か分からないことがあったら、上の人に聞くとか、そういうのもコミュニケーションの一つで。

うれしかったことは何ですか。

まず、入社 3 年目ぐらいに、発表する機会とかがあって、

それが仕事のやりがいとかモチベーションとかにも繋がっているかなと思います。

第一次製造。何をするかというと、これ並んでるマシンで自動で部品を乗せていきます。

自分の目で見てどういったことをやってるのかというのを見てみてください。

上まで積まないとちょっと置き場がなくなってしまう。

こういうのを全部手がけて。

うちがつくってるのは、

ちょうどうちが作ってるんだけど。

いただきます！

【竹並建設株式会社】

皆さんこんにちは。

初めまして。

多様な働き方の認定っていう埼玉県独自のものがございませうけれども、プラチナ認定というところで、一番上位ランクの認定を受けることができた。

会社とは、こういった、感じのものかというのが少しでもイメージできればいいかな。

会社とはそもそも何ぞやと、仕事をするために生きているのではなくて、幸せになるために生きているわけですから、それをちょっと勘違いしないように、

木を吸いこませることによって、

これが、今現場の方で使っている足場になります。

これをまとめて現場の方に車で運んで、現場の方で組み立てて使う足場に

重いものをここに乗せて、押してスライドさせて移動させる、

なくはない、なくはない。

図面を描くのが仕事になっています。

これがまあ配置図じゃないですけど。

メモってきて帰ってきて、

やっぱ全体とまではいかなくても、自分の部屋とかにアクセントとしてつけてもいいかもしれないけれどもね。

それは、俺もいいかも。

私は現在現場監督として建設現場の方に、

スーパーの第2駐車場っていう形で建設をしていました。

正直かなり大きくなって忙しい現場だったので、経験もなかったですし、体力的にも厳しい部分も正直ありました。

テレビ番組で、建築家の人がこう仕事してるのを見て感動して、建築の世界に進もうかなと思って

自分の興味だったり、得意を追求し続けていけば、きっとすばらしい未来が待っていると思います。

このインターンシップは、実践力を高めて専門性を深めるとともに 自分の適性を見極めることを目的としています。

想像することしかできなかったんですが、実際に現場に行ったり体験してみると、面白くやりがいのある仕事だと感じました。